

計画の名称：国見町歴史的風致維持向上計画

主 体：福島県国見町

計 画 期 間：平成27年度から令和6年度

## 序章 計画策定の背景

### 1. 計画策定の背景

国見町に人々が生活するようになったのは、採取された石器から旧石器時代と考えられる。縄文時代には高城の岩淵遺跡・小坂の川原遺跡などが分布し、人々の定住が始まった。弥生時代の遺跡からは、石包丁・蛤刃石斧が出土し水田耕作が始められたと考えられ、古墳時代には豪族らによる古墳の築造が盛んに行われるようになるなど、原始・古代から人々の営みが連綿と続けられている。

古代の本町は、陸奥国信夫郡に属し「伊達郷」と呼ばれていた。8世紀頃には東北地方でも有数の規模を持った条里制による開田がさらに進められ、10世紀頃には信夫郡からこの地方は分立し伊達郡となった。その後、岩手県平泉を中心とする奥州藤原氏勢力の伸長とともに、その支配下に置かれることとなる。

文治5年(1189)、藤原泰衡が源頼朝の率いる鎌倉軍を迎え撃った阿津賀志山の合戦は、奥州合戦最大の激戦であり、この時に築かれた「二重堀」と呼ばれる阿津賀志山防塁が現在も残されている。また、決戦を前に源頼朝が戦勝祈願をしたと伝わる鹿島神社など合戦に関わる伝承が町内に多数残されている。鎌倉・室町時代を通じて伊達氏の支配が続き、江戸時代以後は上杉氏や松平氏・天領など支配者が変遷するが、奥州街道・羽州街道と宿駅が整備され、宿場町を中心としてにぎわいを見せる。現在も往時を偲ばせる建造物と伝統的な活動が多数残されている。

しかし、社会環境の変化、生活の多様化、少子高齢化などにより民俗芸能・伝統行事・生活文化への関心が低調となりつつあるなか、平成23年(2011)に起きた東日本大震災・東京電力福島第1原子力発電所の事故により、この町に住み暮らすことへの明るい希望、現代の私たちが未来へ残すべき歴史的風致が、失われようとしている。

このような状況において、本町は「第5次国見町振興計画」を策定し平成23年(2011)4月より「心あわせ希望に満ちた豊かで生きがいのある国見町」を将来像に掲げ、その実現に向け進んでいく予定であった。しかし、東日本大震災により、物理的にも精神的にも多大な被害を受けたことから、第5次国見町振興計画の前期計画期間を「復興に向けた事業の重点化」を推し進めるため、新たに「国見町復興計画」を作成、復旧・復興に向けた

事業を最優先に掲げた。さらに今後の100年を見据え「1000年のまち。これから100年のまちづくり基本計画」を策定し、この地で1000年培われてきた人々の知恵、文化、歴史を受け継ぎ、今を生きる私たちが未来へ伝えるための基盤づくりを目指している。

これらを踏まえながら、歴史を活かしたまちづくりを推進するため、「国見町歴史的風致維持向上計画」を策定し、国見町固有の歴史的風致の維持及び向上を図るものとする。併せて、「第5次国見町振興計画」「国見町復興計画」「1000年のまち。これから100年のまちづくり基本計画」に基づき施策の推進を図ることで、この地に住む私たちが、この町の「誇り」を再び取り戻し、私たちがその思いを共有できるような「まちづくり」に資するものとする。

## 2. 計画策定の体制

本計画の策定体制は次頁のとおり。歴史まちづくり推進室において作成した素案を基に、歴史まちづくり庁内検討委員会に意見を求め、相互に連携をしながら素案を磨き上げ、学識者や有識者等から構成した「国見町歴史まちづくり計画策定委員会」で議論を深めた。

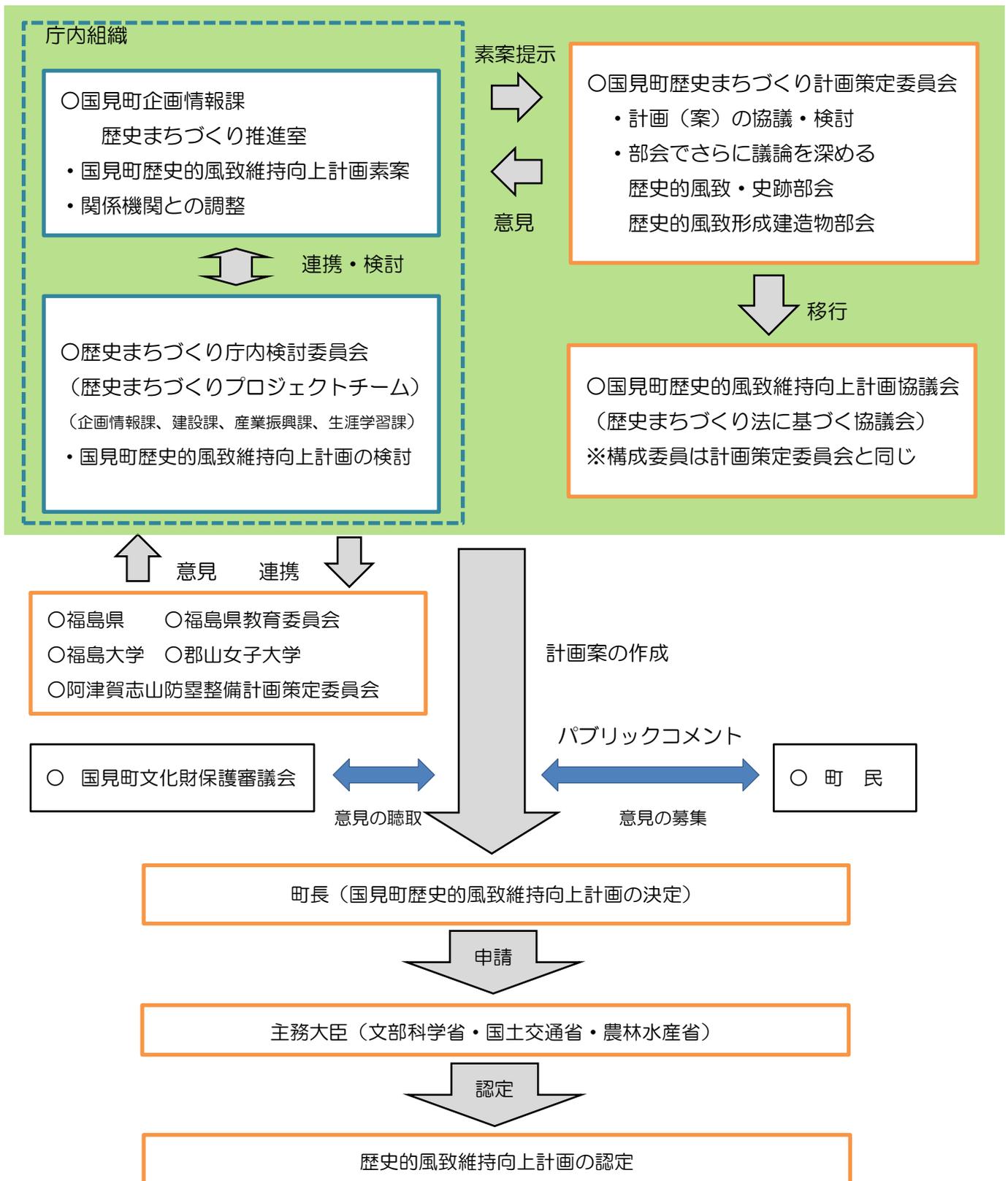
さらに、国見町歴史的風致維持向上計画協議会における協議、関係機関からの意見聴取及びパブリックコメント等による町民への意見の募集を経て「国見町歴史的風致維持向上計画」として決定した。



■歴史まちづくり庁内検討委員会



■国見町歴史まちづくり計画策定委員会



■国見町歴史的風致維持向上計画策定の体制図

### 3. 国見町歴史まちづくり計画策定委員会及び法定協議会の設置

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（平成20年法律第40号）」（以下「歴史まちづくり法」とする。）第4条の規定による歴史的風致維持向上基本方針に基づき、同法第5条第1項の規定に基づき、本町の歴史的風致維持向上計画の作成等に関する協議等を行うため、国見町歴史まちづくり計画策定委員会を設置した。また、同法第11条第1項の規定に基づき、協議並びに計画の実施に係る連絡調整を行うため、国見町歴史的風致維持向上計画協議会を設置した。なお、同協議会委員は国見町歴史まちづくり計画策定委員会の委員をもって構成し協議会へ移行した。

#### ■「国見町歴史的風致維持向上計画協議会」の構成（令和5年2月末現在）

	No.	委員	所属	分野
学識 経験者	1	柳原 敏昭	東北大学大学院文学研究科教授	歴史科学・日本史学・日本史
	2	羽生 修二	東海大学名誉教授	西洋建築
	3	平井 太郎	弘前大学大学院教授	地域社会学
	4	知野 泰明	日本大学工学部准教授	土木史・景観工学
	5	懸田 弘訓	民俗芸能	福島県文化財保護審議会副会長
	6	仲田 茂司	有限会社仲田種苗園 代表取締役	考古学・造園
歴史的建 造物識者 ・所有者	7	齋藤 隆夫	福島県建築安全機構 参与	歴史的建造物の保存・修復
	8	奥山トキ子	奥山合名会社 代表社員	歴史的建造物所有者
郷土史 祭礼 に関する 地元識者	9	中村 洋平	国見町郷土史研究会会長	郷土史
	10	黒田 加津臣	国見伝統文化保存会会長	祭礼
	11	佐藤 清二	内谷春日神社太々神楽保存会会長	祭礼
行政	12	福島県土木部まちづくり推進課長		行政・まちづくり
	13	福島県教育庁文化財課長		行政・文化財保護
	14	福島県県北建設事務所企画管理部長		行政・建築・都市整備
	15	佐藤 克成	国見町副町長	行政
	16	菊地 弘美	国見町教育長	行政・教育

協力者・機関等(敬称略)

【行政・関係機関】

- 脇坂隆一 (国土交通省東北地方整備局建政部都市調整官)  
荒関 保 (国土交通省東北地方整備局建政部計画・建設産業課課長補佐)  
荒 博之 (国土交通省東北地方整備局建政部計画・建設産業課計画・環境係長)  
佐藤芳之 (福島県土木部まちづくり推進課主幹兼副課長)  
伏見 聡 (福島県土木部まちづくり推進課主任主査)  
橋本泰寿 (福島県土木部まちづくり推進課主査)  
新関 永 (福島県土木部建築指導課主幹兼副課長)  
平子 誠 (福島県県北建設事務所主幹兼企画管理部長)  
関 敦司 (福島県教育庁文化財課文化財副主査)

【大学】

- 後藤 治 (工学院大学建築学部建築デザイン学科教授)  
長田城治 (郡山女子大学家政学部建築デザインコース講師)  
木下 剛 (千葉大学大学院園芸研究科准教授)  
菊地芳朗 (福島大学行政政策学類教授)  
阿部浩一 (福島大学行政政策学類教授)  
徳竹 剛 (福島大学行政政策学類准教授)  
北野博司 (東北芸術工科大学歴史遺産学科教授)

【国見町内】

- 菊池利雄 (国見町郷土史研究会員)  
笠松金次 (国見町郷土史研究会員)  
伊藤一敏 (伊藤石材有限会社代表取締役・石工)  
阿部初男 (貝田町内会長)  
渋谷福重 (光明寺町内会長)  
遠藤春夫 (鳥取福源寺観音様を守る会)  
鹿島神社祭礼関係者・若連の皆様

#### 4. 計画策定の経緯

##### (1) 計画の作成に向けた検討等

国見町歴史的風致維持向上計画策定委員会を4回、歴史的風致・史跡部会を3回、歴史的風致形成建造物部会を3回、歴史まちづくり庁内検討委員会を12回開催し計画を作成した。

##### (2) 計画の策定に向けた検討等

国見町歴史的風致維持向上計画協議会を1回開催し、国見町文化財保護審議会での意見聴取、シンポジウムの開催や町民意見募集（パブリックコメント）を経て、認定申請を行った。

詳細については以下のとおり。

開催日	会議名等	主な検討内容
平成26年2月27日	庁内関係各課打ち合わせ会	
平成26年3月7日	庁内関係各課打ち合わせ会	
平成26年3月24日	庁内関係各課打ち合わせ会	・組織体制について
平成26年4月11日	【第1回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	・計画策定のスケジュール ・歴史的風致の選定
平成26年4月21日	【第1回】 国見町文化財保護審議会	・計画策定について
平成26年5月9日	【第2回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	・歴史的風致の選定
平成26年6月2日	【第3回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	・計画策定のスケジュール ・歴史的風致の選定
平成26年6月8日	【第1回】 歴史まちづくりシンポジウム	
平成26年6月18日	【第4回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	・計画序章・第1章・第2章
平成26年6月23日	【第1回】 国見町歴史まちづくり計画策定委員会  【第1回】 歴史的風致・史跡部会 歴史的風致形成建造物部会	・計画序章・第1章・第2章 ・計画策定のスケジュール ・歴史的風致の選定

開催日	会議名等	主な検討内容
平成26年7月14日	【第5回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	・計画序章・第1章・第2章 ・歴史的風致の選定 ・実施事業の検討
平成26年7月16日	【第2回】 歴史的風致・史跡部会 歴史的風致形成建造物部会	・計画序章・第1章・第2章 ・歴史的風致の選定
平成26年8月9日	【第2回】 歴史まちづくりシンポジウム	
平成26年8月18日	【第6回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	・計画序章・第1章・第2章 ・歴史的風致の選定 ・実施事業の検討
平成26年8月25日	【第3回】 歴史的風致形成建造物部会	・歴史的風致形成建造物の指定 候補選定
平成26年8月27日	【第3回】 歴史的風致・史跡部会	・歴史的風致の確認
平成26年9月17日	【第7回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	・歴史的風致の確認 ・実施事業の選定・検討
平成26年9月25日	【第8回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	・実施事業の選定 ・今後のスケジュール
平成26年9月30日	【第2回】 国見町歴史まちづくり計画策定 委員会	・計画について ・実施事業について
平成26年10月19日	【第3回】 歴史まちづくりシンポジウム	
平成26年10月27日	【第9回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	・実施事業の確認 ・今後のスケジュール
平成26年11月19日	【第3回】 国見町歴史まちづくり計画策定 委員会	・計画について ・パブリックコメントについて
平成26年11月20日 ～12月8日	計画に対する町民意見募集 (パブリックコメント)	
平成26年11月26日	【第2回】 国見町文化財保護審議会	・計画について

開催日	会議名等	主な検討内容
平成26年12月1日	【第10回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の確認</li> <li>・今後のスケジュール</li> </ul>
平成26年12月15日	【第4回】 国見町歴史まちづくり計画策定委員会  【第1回】 国見町歴史的風致維持向上計画協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画について</li> <li>・パブリックコメントの結果について</li> </ul>
平成26年12月19日	【第11回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画申請について</li> <li>・事業のスケジュールについて</li> </ul>
平成27年1月21日	【第12回】 歴史まちづくり庁内検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画申請について</li> <li>・事業のスケジュールについて</li> </ul>
平成27年1月22日	国見町歴史的風致維持向上計画認定申請	